

都市計画審議会 意見表明

●濱田委員 私の意見は池田委員と共通するところがあると思います。

当初、医療施設ということをみんなで議論して決めたわけです。しかし、手を挙げる人がいなかった、挙げる予定の人が引いてしまったから諦めて、今度はホテルにするというのは何かイージーな気がするのです。私は、もう少し当初案にこだわって、頑張っていたきたいなという気がします。

それは、もしここにホテルをつくるとなると、先ほどスターツコーポレーションという話がありましたけれども、大手資本ですよね。今、地域の人が経営するホテルはかなりぐあいが悪くなって、東京資本のホテルがどんどんふえているのです。

例えば、皆さんに帯広駅をイメージしていただきたいのですが、駅の周りはほとんどホテルですが、ほとんどが東京資本です。これでいいのですかという気持ちでいつも見ているのです。

大きな敷地を四つに分けて、その一角にホテルが建つわけですから、全部が全部ではありません。また、札幌のホテルは満杯だと言われておりますけれども、それはある特殊な事情というか、いつまで続くかがわからないある需要によってそうなっているわけです。ですから、ホテルをそうばかばかと建てる時代なのかなと思っております。さらに、駅周辺の雰囲気として、ホテルばかりになるのはどうかと。それよりは、医療施設をつくったほうが良いと思うのです。

医療機関に聞いてみたけれども、どこも手を挙げなかったと言うことでしたね。私の隣に松浦委員もおられるから事情を聞いてみたらいいと思うのですが、大手の病院はどこも満杯で、さばける外来患者数をはるかに超えた人が来ているのです。おかげで、医者を中心に、医療従事者は昼ご飯を食べる暇もない状態が続いているのです。

それは患者数が多いのが一番の原因ですけれども、入院施設と外来施設が分かれていないからなのです。入院する人も来るし、外来の人も来るのです。ところが、この機能は少し違って、皆さんが病気になって本当に治療したいのだったら入院となるのです。しかし、外来の目的というのは、診察して、あなたは何ですと判断するものなのです。それが同じ施設に入っていることが問題で、大手の病院は入院施設と外来施設を分けようとしているのです。

そういうとき、外来に来る人というのは歩いて来られる方でして、そういう人にとっては、大きな駅の近くというのは圧倒的に便利なのです。ですから、この場所というのは、特に外来を考えると非常にいい場所なのです。ここにわざわざホテルを建てるのかということ。また、当初案は医療系だったわけですから、少し粘ったらどうですかというのが私の意見です。

もう一つは、意見書が出ていて、それをざっと見たのですが、物すごく激しい言葉がいっぱい使われてあり、ぎょっとするようなことが書いてあるのです。「何とかは虚偽である」という言葉もあります。これは次回にお答えいただくということですが、慎重に答えていただきたいと思います。もしここに書かれていることが本当だったら大変なことだと思ふようなことなわけです。それをぜひお願いしたいと思います。

私の意見は、せっかく当初案を決めたのだし、駅前の医療施設はそうないのだから、ちょっと粘ってみてくださいという希望です。